

# 情報発信 2

～可視化した時系列データの公開～



---

## 目次

第 1 章 はじめに.....	3
当資料の位置付け .....	4
WebAppBuilderについて .....	4
第 2 章 Webアプリの作成.....	5
ステップ1：Web AppBuilder の起動 .....	6
ステップ2：テーマの選択 .....	7
ステップ3：マップの選択 .....	9
ステップ4：ウィジェットの追加.....	9
第 3 章 Webアプリの公開.....	15



---

## 第1章 はじめに

## 当資料の位置付け

ここでは、ArcGIS Web AppBuilderというアプリケーションを用いて可視化した時系列データを情報発信するための操作手順を記載します。



Web AppBuilder を使用するには、Creator または GIS Professional ユーザー タイプと、ArcGIS 組織でアプリを作成する権限が必要です。

## WebAppBuilderについて

ArcGIS Web AppBuilderは、コーディング不要でアプリを直感的に作成することができます。豊富なデザインテーマと各種機能を持つウィジェットを組み合わせ、2Dおよび3DのWebアプリを作成できます。

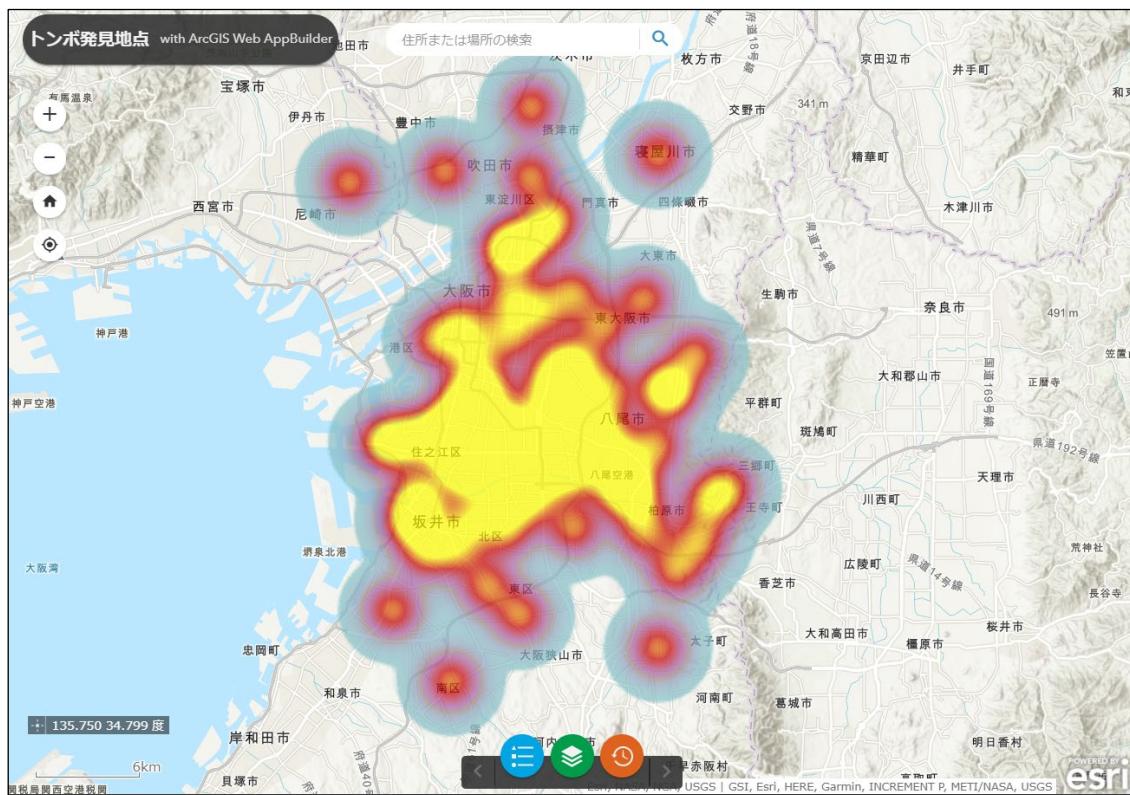


図 1

(本資料で作成するアプリケーションの完成イメージ)



---

## 第2章 Webアプリの作成

## ステップ1：Web AppBuilder の起動

- ① [コンテンツ]ページの[マイコンテンツ]から、Webマップ（ここでは「状況認識～GISを用いた時系列データの可視化～」の手順書で作成したWebマップを選択）をクリックします。
- ② Webマップの[概要]ページが開きます。[概要]ページ右側にある[Webアプリの作成]をクリックします。続いて[Web AppBuilder]をクリックします。

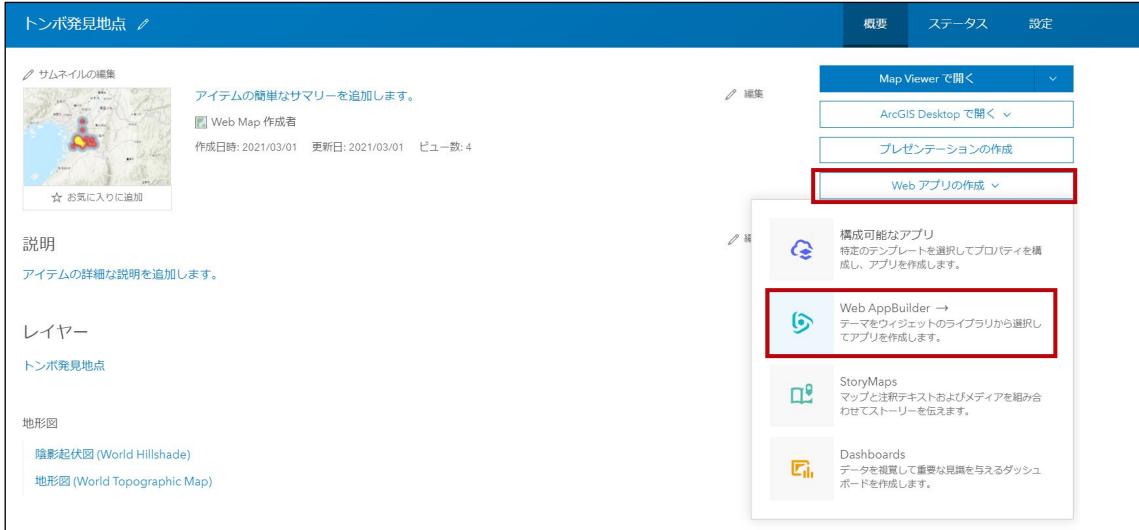


図 2

- ③ タイトル/タグ/保存先を記入・設定し、[OK]をクリックします。

The dialog box is titled '新しい Web アプリの作成'. It contains the following fields:

- タイトル:** トンボ発見地点
- タグ:** トンボ発見地点
- サマリー: (オプション)** サマリーを入力
- カテゴリ:** + カテゴリの割り当て
- フォルダーに保存:** (empty dropdown)

At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

図 3

- ④ Web AppBuilder が起動します。



Web AppBuilder には構成可能なテーマに基づくアプリの外観や、様々な種類のウィジェットが用意されています。

以下、ステップ2から、アプリの構成を行っていきます。主な手順は以下の通りです。

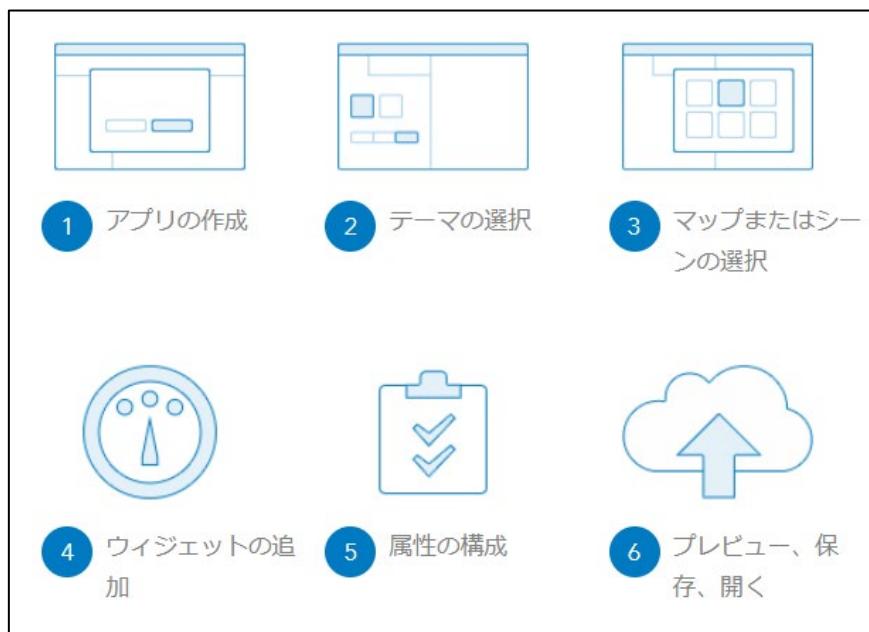


図 4

## ステップ2：テーマの選択

- ① アプリの外観と操作性を表すフレームワークである[テーマ]を選択します。10個のテーマから1つ選択します。ウィジェットの位置は、各テーマによって異なります。



10個のテーマの概要は「ArcGIS Web AppBuilderヘルプ」の「アプリ構成」をご確認ください。  
<https://doc.arcgis.com/ja/web-appbuilder/create-apps/themes-tab.htm>

今回は「ローンチパッドテーマ」を選択します。「ローンチパッドテーマ」では、ウィジェット コントローラー（図7）が画面下部に配置されます。



図 5

② スタイルやレイアウト(ユーザーインターフェイス アイテムの配置)も併せて選択します。

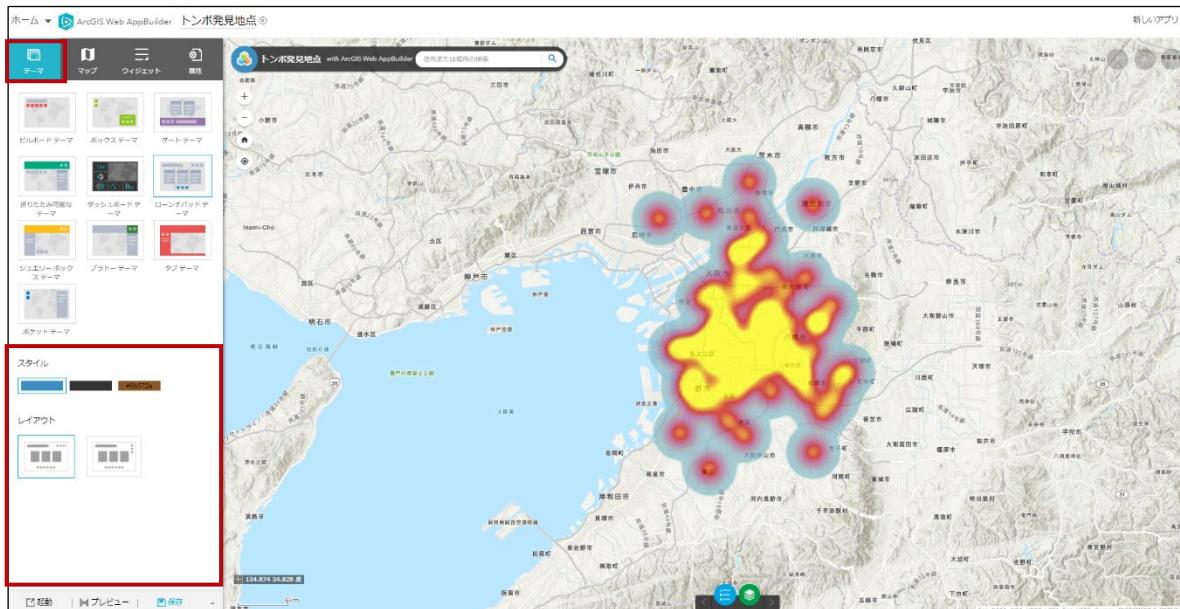


図 6

## ステップ3：マップの選択

- ① [テーマ]の設定が完了したら、[マップ]をクリックします。Webマップを変更したい場合は、[Webマップの選択]をクリックし、マイコンテンツにある他のWebマップと変更します。
  
- ② [初期範囲の設定]セクションでは、アプリケーション起動時の初期範囲を指定します。現在表示されているマップから設定、またはWebマップのデフォルト範囲を指定することができます。  
この手順書では [現在のマップビューを使用]をクリックします。

## ステップ4：ウィジェットの追加

- ① [マップ]の選択が完了したら、[ウィジェット]をクリックします。[ウィジェット] タブを使用すると、アプリの機能を構成できます。この手順書で使用するウィジェットは[タイムスライダー]のみですが、他のウィジェット等もぜひお試しください。

[ウィジェット]には、パネル外ウィジェットとパネル内ウィジェットがあります。

### パネル外ウィジェット

パネル外ウィジェットは、パネル内にないウィジェットです。オン/オフが可能で、コントローラーに追加できます。テーマに埋め込まれたパネル外ウィジェットは、[ウィジェット]タブが有効になっている場合にのみ表示されます。

### パネル内ウィジェット

パネル内ウィジェットはウィジェット コントローラーで使用可能であり、アプリに追加できます。デフォルトでは、コントローラーに格納されています。選択したテーマに応じて、折りたたみ可能なテーマでヘッダー構成のアプリの右上隅に表示されるか、タブ テーマでサイドバー構成のアプリの左側に表示されます。



ウィジェットの最初のセットやウィジェットの配置位置は、各テーマによって異なります。図7は一例です。

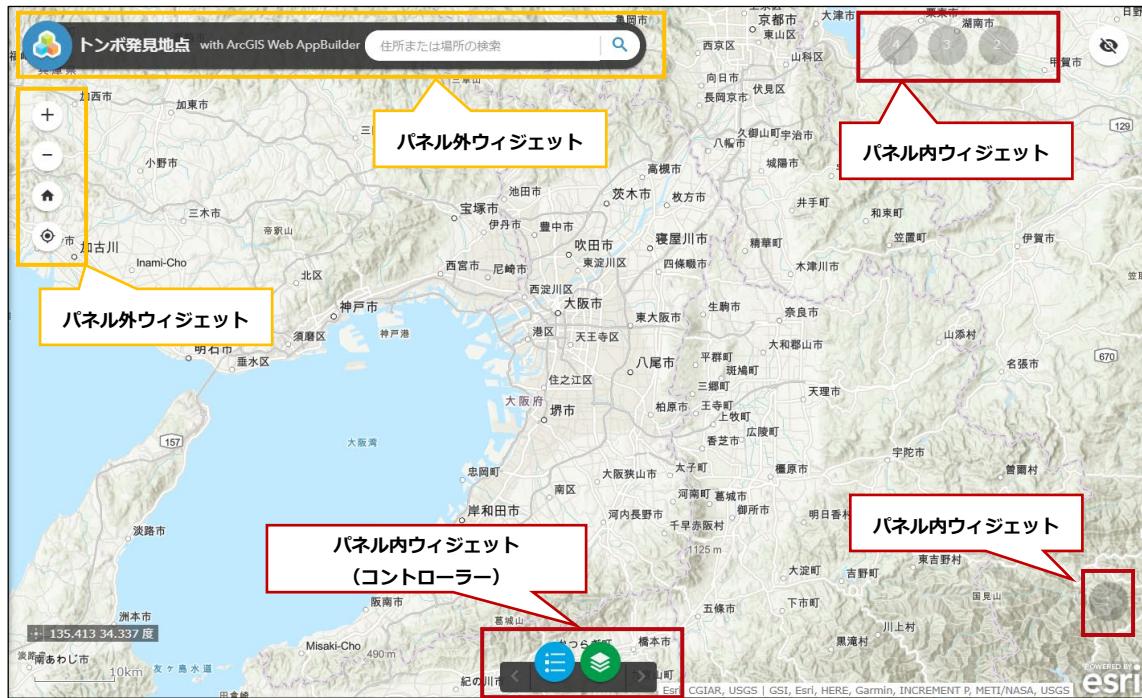


図 7

- ② [タイムスライダー] ウィジェットを追加します。今回追加するウィジェットは1点のみなので、画面下部  に配置します。
- ③ [このコントローラーにウィジェットを設定]をクリックします。



図 8

- ④ [ウィジェットの追加]  をクリックします。

- ⑤ [ウィジェットの選択]から、[タイムスライダー]をクリックし、[OK]をクリックします。

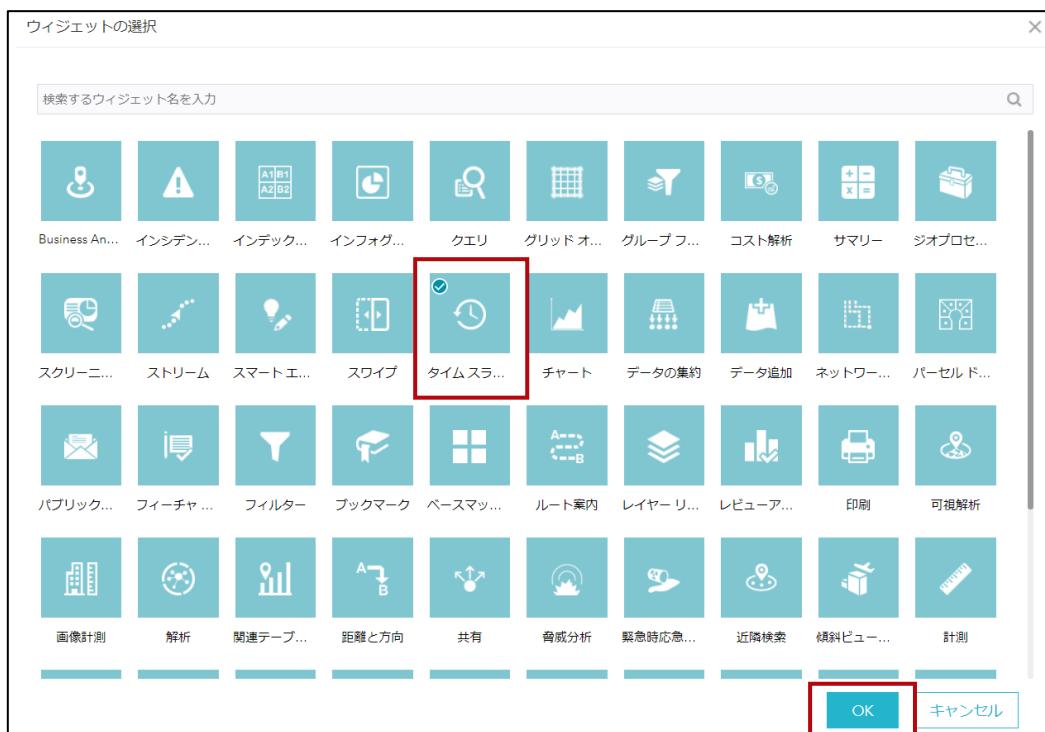


図 9

- ⑥ タイムスライダーの構成画面が開きます。時間設定とスライダー設定を行います。今回は [Web マップの時間設定の適用] にチェックを入れ、[スライダーを自動再生] のチェックを外します。次に [OK] をクリックします。



図 10

⑦ マップにタイムスライダーのウィジェットが追加されていることを確認します。

タイムスライダーを示すアイコン をクリックすると、パネルが開きます。

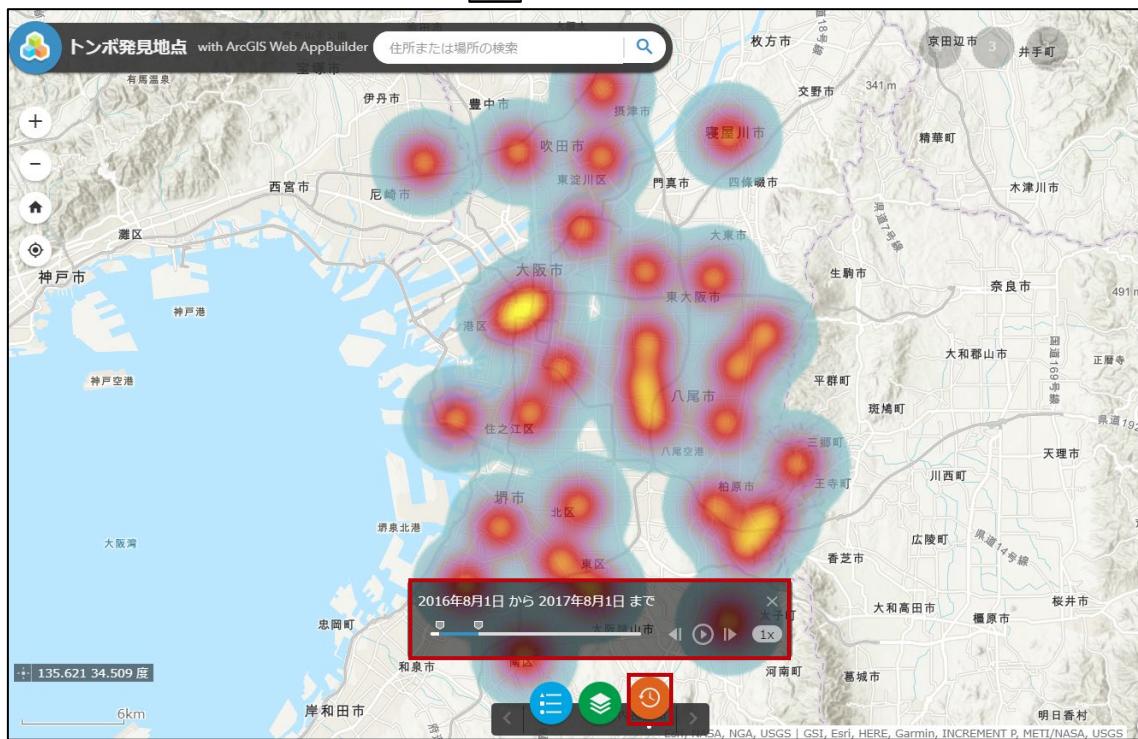


図 11

⑧ ウィジェットの設定を編集したい場合は、対象のウィジェットアイコンにカーソルを合わせると表示される をクリックします。すると、⑥で設定した構成画面が開き、内容を変更することができます。他のウィジェットでも同様です。



図 12

- ⑨ ウィジェットを非表示にしたい場合は、対象のウィジェットアイコンにカーソルを合わせると表示される  をクリックすると、ウィジェットが非表示になります。今回は概観図を非表示にします。



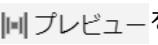
図 13

- ⑩ アプリケーションのロゴ/タイトルを変更したい場合や、リンクの追加を行う場合は、[属性]をクリックします。



図 14

- ⑪ [保存]  をクリックして、一連の作業結果を保存します。  
これでアプリの設定が完了です。

- ⑫ 最後に作成したアプリを確認します。[起動]  起動 をクリックすると、アプリを確認することができます。また、[プレビュー]  プレビューをクリックすると、一般的なデバイスの画面サイズに応じてアプリをプレビューできます。

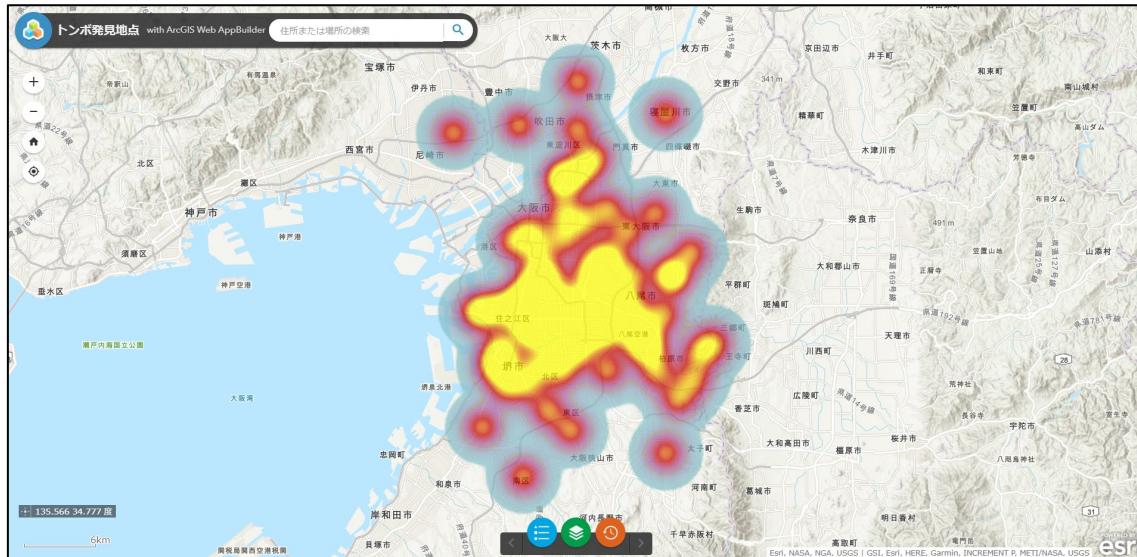


図 15

作成したアプリは、[マイコンテンツ]に保存されます。



図 16



---

## 第3章 Webアプリの公開

① [マイコンテンツ]から前ステップで作成したアプリをクリックします。

The screenshot shows the 'My Content' section of the ArcGIS portal. On the left, there's a sidebar with 'Content' and 'Create' buttons, and a search bar. The main area displays a table of items with columns for 'Title', 'Type', and 'Last Updated'. One item, 'トンボ発見地点' (Tonbo Discovery Location), is highlighted with a red box. The table data is as follows:

タイトル	更新日
トンボ発見地点	2021/03/02
トンボ発見地点	2021/03/01
トンボ発見地点	2021/03/01
トンボ発見地点	2021/03/01

図 17

② アプリの[概要]ページが開きます。[概要]ページの右下にある[共有]の[編集]をクリックします。



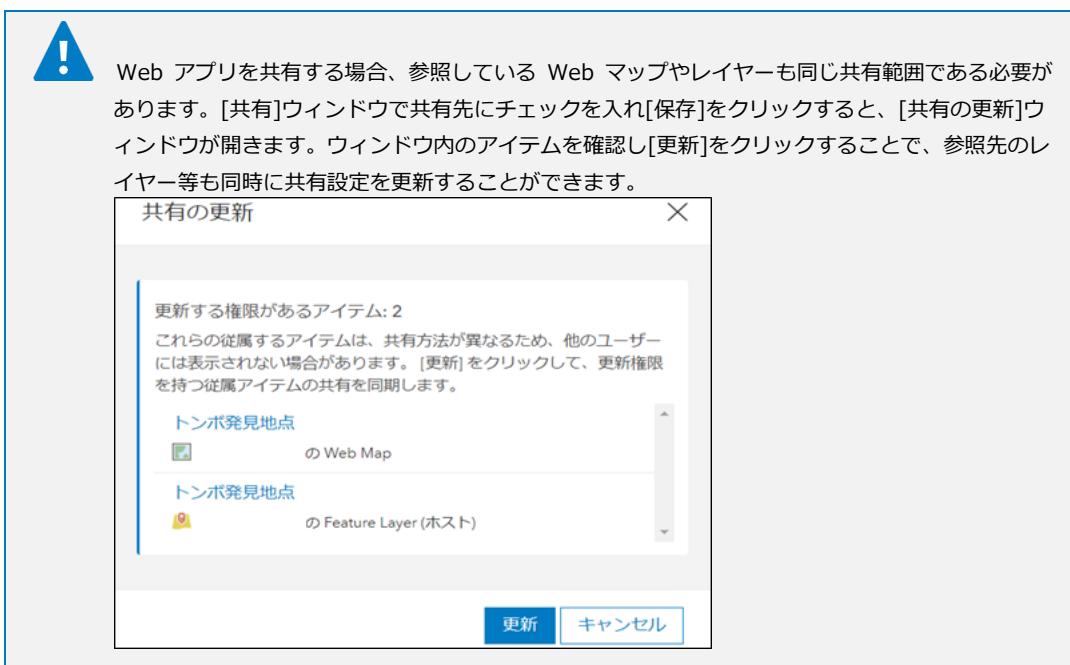
図 18

③ [共有]ウィンドウが開きます。[共有レベルの設定]では、「組織」、「すべての人に公開（パブリック）」、「グループ共有の設定」を選択することができます。また、組織、グループ、すべてのユーザーを組み合わせてアイテムを共有することもできます。[所有者]にチェックを入れていると、アイテムを確認できるのは所有者のみ（組織や一般には非公開）となります。デフォルトでは[所有者]となっています。



図 19

「すべての人に公開（パブリック）」は、ArcGIS Online を訪れたすべての人（匿名ユーザーを含む）が、そのアイテムにアクセスして表示することができます



- ④ [共有の更新]で[更新]をクリックすると、[概要]ページの右下にある[共有]のアイコンが、へ変更されます。

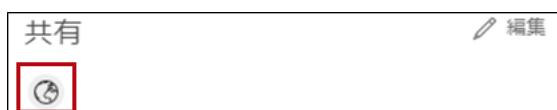


図 20



- ⑤ 共有設定後、[マイコンテンツ]で各アイテムの共有設定を確認します。



共有設定についての詳細は、「ArcGIS Online 逆引きガイド」のp94～p104をご確認ください。

[https://www.esrij.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/ArcGISOnline\\_user\\_guide.pdf](https://www.esrij.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/ArcGISOnline_user_guide.pdf)

以上

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。

必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2021年3月31日 第1版発行

© National Institute for Environmental Studies. 2021